

記者発表（資料配布）		本紙のみ	
月／日（曜日）	担当部課名	電話番号	発表者名 （担当者名）
令和2年2月7日（金） 午前10時00分	総務課 広報室	0790-82-2549	

件名： 第67回兵庫県広報コンクールで「広報さよう」が

2年連続の特選

日ごろから本町の広報活動にご協力いただき、ありがとうございます。

県内各市町が平成31（令和1）年中（1～11月）に発行・発表した各種広報媒体（広報紙・写真・映像作品）のうちから、優秀な作品を選び表彰する「第67回兵庫県広報コンクール」の各部門入賞作品が決定し、本町が広報紙部門（町の部）で2年連続、平成17年の合併以降10度目の特選となりましたので、お知らせします。

記

1. 受賞作品のあらまし

受賞したのは「広報さよう」令和1年8月号です。佐用町にかつてない被害をもたらした平成21年の台風第9号災害から10年が経ち、人々の記憶から災害の恐ろしさ、教訓が薄れていくことが危惧されます。また、町内の小学生にとっては生まれる前や生後間もない頃の、過去の出来事です。

特集では「災害の教訓を次世代へ繋いでいくこと」を焦点に、これまでの復興への取り組みや町の防災に深く関わる兵庫県立大学の室崎教授と木村教授へのインタビュー、町内の小学校で実施している防災学習などを掲載しています。

10年という節目に、住民に対し防災について改めて考えてもらうことと、小学生たちが災害の教訓を継承しようと取り組んでいることを伝える企画です。

なお、「広報さよう」は、町公式ホームページで閲覧いただくことができます。

（掲載アドレス <https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=5042>）

2. 審査講評

第67回兵庫県広報コンクール【広報紙部門】

（町の部：特選「佐用町／広報さよう 8月号」）

同町に大きな被害をもたらした平成21年台風第9号から10年を迎える節目に、これまでの復興の道のりや自主防災力、災害の教訓の継承など防災の取組について真正面から取り上げた力作。災害後、同町の防災に深く関わる研究者に取材するなど、「教訓を風化させない」という決意が伝わり、読み応えのある特集となっている。